

総代長ご挨拶

今年の4月に、私達8人は新寺世話人として区会より選任されました。これからは、皆で話し合いながら、長田昭平相談役を中心に、近隣に誇れる菩提寺を目ざして努力を重ねてまいります。また、檀家の皆様が墓参りに来た時に、お寺に寄りお茶でも飲みながら、気軽に先祖の話でも出来るような、東円寺を皆で作っていきたいと思います。どうか檀家の皆様もご協力をお願いします。

●東円寺新総代・寺世話人が決まりました。

檀徒総代長	長田 利勝殿	寺世話人	天野 一光殿
副総代	大森 長秀殿	寺世話人	大森 建 殿
総代	渡辺 明 殿	寺世話人	大森 信正殿
総代	大森 直行殿	寺世話人	長田 新一殿
総代・寺世話人相談役	長田 昭平殿		

檀信徒名簿更新届および墓地継承届提出について

昨年の6月に全檀信徒にお願いした、上記の届を提出されていない方がおります。宗教学法人法に基づいた寺院規則によると、寺院と檀信徒の関係は、一種の契約関係です。檀信徒からの届を寺院が受理し、檀信徒名簿に記載されて、寺檀関係が成り立ちます。つまり届を提出しないと檀信徒としての身分の喪失となります。また、この度の檀信徒名簿更新届および墓地継承届は今後の寺院運営に対して大切な書類です。どうか上記趣旨をご理解の上、まだ提出されていない方は、届の提出をお願い申し上げます。

檀信徒の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。ご心配されておりました東円寺問題も昨年の区長様達のご尽力にて、無事収束いたしました。ここに改めてご報告いたします。さて、御嶽山の噴火のニュースが収まらないうちに、箱根を始め、日本各地で火山の噴火の記事が新聞紙上を賑わしています。富士山の噴火も取りざたされている今日、山麓に住んでいる私たちは他人事ではありません。日本だけでなく、世界中で大地震や大災害がおきています。産業革命以後、大切な自然を破壊し続けてきた人間の愚かな行動に、地球が鉄槌を与えているのかもしれない。加えて、大雨による災害も後を絶ちません。忍野村においても毎年のように、忍草地区では大雨による道路の通行止めがおきています。このままでは緊急時の救急活動にも支障を来すことでしょうか。早急の対策が望まれます。

合掌

東円寺行事予定

八月七日	新盆施餓鬼会	午前十一時より
八月十三日～十五日	お盆	
八月十六日	送り盆 仏参金受付	午前九時～午後五時
九月十九日～二十日	諏訪明神大祭	
九月二十三日	秋彼岸 中日 仏参金受付	午前九時～午後五時
十月三日	不二の祈り	午前十一時より
十一月三日	お会式	午前十一時より

観音堂再建基金寄附者芳名

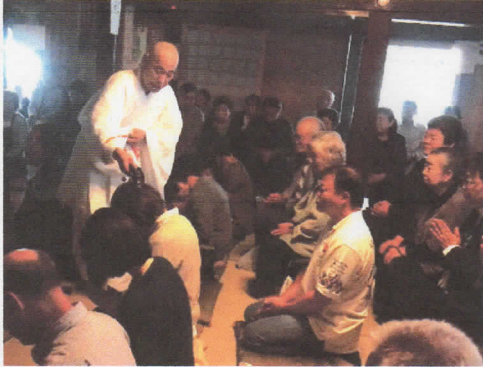
二月吉日	渡辺猛彦殿	五百万円
三月吉日	渡辺弘幸殿	十万円
五月吉日	天野一義殿	十万円
六月吉日	藤井七栄殿	三万円
松戸市		
平成二十七年六月末現在観音堂再建基金合計		一五、〇四三、五九一円

# 不二の祈り

## ～上原行照大阿闍梨様護摩厳修～



お護摩の様子



お加持の様子

「不二の祈り」は富士山世界文化遺産を御祝いして昨年の10月3日、東円寺の富士山鈴原目黄不動尊の御宝前にて厳修された護摩祈禱です。比叡山千日回峰行者、上原行照大阿闍梨様により、盛大に厳修されました。東円寺のお不動様は明治の廃仏毀釈時に、富士山1合目鈴原社より遷座されました。それから約140年以上の歳月が過ぎ、江戸時代、多くの富士登山の道者達を見守り続けたお不動様でしたが、その存在は忘れられてしまいました。仏縁によって、上原行照大阿闍梨様と深いご縁をいただき、昨年の「不二の祈り」を開催できたことは、富士山の歴史、また、東円寺に取りましても意味深い法要でした。昨年に引き続き今年も、上原行照大阿闍梨様をご来駕され、護摩を厳修されることになりました。今年、比叡山では、10月1日から6日まで、4年に一度行われる法華大会があります。これは、比叡山の行事の中でもとても重要な行事です。そのようなお忙しい時期にもかかわらず、お越しいただける真心にお答えするためには、多くの皆様にお参りいただくことではないかと思っています。多くの皆様の御参拝をお願い申し上げます。

～大行満大阿闍梨とは～

千日回峰行を満行した人の尊称。生身の不動明王として崇められます。

### 少しずつ・・・

7月2日、宮城県南三陸町石浜地区に於いて、今年で4回目になる、埼玉天台仏教青年会主催の行事へ救援として参加させていただきました。これは、「石浜祭り」と題し、埼玉天台仏教青年会が中心になり石浜地区のコミュニティーセンターで、地区の皆さんをお招きして、催されるお祭りです。

当日は7教区60人の青年僧が様々な露店を出店し、ボール投げあり、ゲームあり、スイカ割りありと、老若男女100名近い地区の皆さんが来ていただき、大変な賑わいを見せました。中でもはしゃぐ子供たちの笑顔が何より嬉しく感じました。

私たちが向かう道中の海側では、被害のあったJR気仙沼線の一部区間をアスファルトにして、BRT(バス高速輸送システム)の運用がされていました。4年の歳月が経ちますが、陸橋は崩れたまま、いたるところに重機や建設資材が置かれていました。会場近くの港では、漁に使う浮き玉が地上10メートルの枝にひっかかっており、当時の大津波の凄まじさを物語っていました。そして、会場で出会った漁師の方がぼそっと言った「海は怖い」の一言は強烈な印象だったのを思い出します。

この「石浜祭り」を通し、被害の甚大さと、ほんの少しずつ以前に近づいてはいるが、形あるものはもちろん、形のない心の面での復興の難しさを改めて考えさせられました。

慈法 合掌

### 八海・新名庄川清掃参加者募集

清掃活動を続けて、9年目に入りました。今年も毎月8日に清掃・除草活動をします。天候などで変更する場合は事前に連絡させていただきます。多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。



ご詠歌に参加しませんか

3月～12月 第2・第4月曜日

午後2時～3時

ご詠歌の楽しみは、練習の後のお茶飲みです。住職を囲んで、雑談会をしています。お友達同士誘い合っただけのご参加をお待ちしております。

# 東円寺先祖供養団参報告

東円寺の先祖供養団参は、毎年させていただくようになって12年の歳月が経ちました。団参にご参加くださる方の約半数は、毎年ご参加くださっています。毎年ご参加くださる方々は、「今日は、息子に会いに行く…」とか「ご主人に…」「両親に…」等々、比叡山の阿弥陀堂で供養をしていただくことで、ご家族に会えるような気がするとおっしゃいます。今回は、団参に参加してくださった方よりも、供養される諸霊の方が多く、行きのバスは重量オーバーだったかもしれません。夕食後、伊崎寺ご住職上原阿闍梨様の法話をお聞きました。伊崎寺は、檀家寺ではなく信者寺です。お参りに来られる信者さんから受ける質問を中心とした法話でした。「なぜ、回忌法要をしなければならないのでしょうか。33回忌がお取り上げとされていますが、もっと早い時期にお取り上げをしてはいけませんか。」という内容の質問が多いそうです。できることなら、菩提寺の和尚さんにお聞きした方がいいと思うのだけれども、質問にお答えしないのも失礼なのでこのようにお話されたそうです。「チベットのダライ・ラマが亡くなると、ダライ・ラマの生まれ変わりを探そうです。このお話は有名な話ですが、生まれ変わったダライ・ラマを探すというのは、輪廻転生があると信じられているからです。先祖の回忌法要は、亡くなられた方に功德を積むための行い(六道に落ちた先祖を供養することによって極楽に送ることが出来る善行)、また、自分という人間を支えてくれた先祖に感謝の気持ちを伝えることです。先祖は、誰かに生まれかわって来ます。功德を積むということは、巡り巡ってくるということです。子供や孫も誰かの生まれ変わりなら、その子供や孫に功德は積まれていきます。そのような行いができる時間は限られています。功德を積む時間があるのに、回忌法要を早い時期にやめてしまうのは勿体ないことだと僕は思います。」とお話されていました。先祖供養団参に参加された方々は、どれほどの功德を積むことができたのでしょうか。感慨深い一日は、あつという間でした。2日目は、城崎温泉に宿泊しました。天橋立は、船に乗っての観光でした。船着き場の隣にある智恩寺では、三人寄れば文殊の知恵で有名な文殊菩薩をお参りさせていただきました。城崎温泉では、浴衣を着て、桐の下駄をはき、温泉街を「カラコロン」と音をたてて歩いてきました。数時間の滞在ではもったいないと思いつつも、様々な思い出をお土産に持つて帰ることができたのではないのでしょうか。団参最終日、岸壁の母で有名な「舞鶴引上記念館」(現在、改装工事中で仮説の記念館)へ行きました。話でしか知らない千人針の本物を見ることができました。祈りの込められた千人針が今でも目に焼き付いて離れません。名神高速が集中工事のため、2時間ほど余分な時間がかかってしまいました。運転手さんがお疲れになったことでしょう。今年も無事に先祖供養団参をさせていただきました。総代・世話人さん、ご参加くださった皆様大変お疲れ様でした。来年は、淡路島と倉敷の旅を予定しています。多くのご参加をお待ちしております。



## お盆は本堂にお参りしましょう。

東円寺は、昔からお盆の期間中(8月7日~16日)本堂に地獄絵図の掛け軸を掛けています。東円寺の地獄絵図は、年号などが無い為に、どのくらい前のものか分かりませんが、かなり古いものです。地獄絵図は、怖いものではなく、人が生きるための戒めとして、作られたものです。是非、お参りください。

## ~次回団参予定~

H28年  
6月13日(月)  
~6月15日(水)  
比叡山先祖供養団参  
「淡路島・倉敷」方面  
詳しくは東円寺たより春彼岸号にてお知らせいたします。  
どうぞお楽しみに!!

## 仏参金納入口座のお知らせ

### 郵便口座

記号 10800 番号 6654231

口座名 トウエンジ 又は 東圓寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

### 山梨中央銀行

忍野支店 口座 普通 121086 東円寺

◎ご家族の名前で振り込んだ場合、家の確認が出来ないことがありますので、必ず戸主がわかるようにして下さい。

# 東円寺子育地藏尊大祭 ～4月24日～



お護摩の様子



お加持の様子



☆バザーの売り上げは次の団体に

寄付しました

忍野村図書館 30,980 円

インド子供基金 10,000 円

☆照隅さん募金

天台宗地球救援事務局 5,269 円

ご協力ありがとうございました。

※忍野村広報七月号に掲載されています。

## 寺庭のつばゆき

檀信徒の皆様におかれましては、平素より東円寺に対しまして、温かなご支援ありがとうございます。4月には、子育地藏尊大祭、6月は先祖供養団参りと東円寺の行事にご参加いただきましてありがとうございます。現在のような子育地藏尊大祭になりまして10年、先祖供養団参りは12年と歳月を積み重ねて来られましたのも、檀信徒の皆さまのご支援のお蔭です。重ねて御礼申し上げます。私事ですが、最近、神奈川寺庭婦人会の御詠歌にお仲間入りさせていただきました。6月25日・26日には、千葉県館山市において東日本奉詠舞大会に参加いたしました。詠唱の歌詞には、伝教大師様のみ教えが込められています。私は、平塚の妙円寺の奥様に勧めいただき、神奈川寺庭婦人会のお仲間に入れていただきました。大会に参加されている方々は、皆さん様々なご縁で御詠歌をされることになったのだと思います。尊いご縁をいただきながら、御詠歌とは何なのだろうと深く考える機会は少ないものです。大会を通して御詠歌の深さを感じることができました。大会の開会式で、天台座主様から「伝教大師最澄様は、『光つたえよ、法のともしび』と、仏様のみ教えが、のちの世の人々を導く明かりとならんことを願い、『不滅の法灯』を灯されました。その御心は千二百年を経た今の世においても、私たちの進むべき道を照らし続けております。真心の詠唱詠舞は、極楽浄土の妙音を現わし、その聲や姿によって人々は信仰を高めることができる、尊い行いである」とのお言葉を頂戴しました。私は御詠歌の歌詞に惹かれます。心に深く沁みてくるのはなぜなのか。それは、日本人特有の耐え忍ぶ精神が歌われているからなのだと思います。自然は、恵みをもたらしてくれますが、時には恐ろしい天災となって生活の根幹をさらっていきます。けれども、日本人は自然をありのままに受け止め、辛抱し前に向かって歩いてきました。戦後70年、高度経済成長を成しえたのも、耐え忍ぶ精神の強さを、ご先祖様から継承されたものであると思います。しかし、日本人の根幹である、耐え忍ぶ精神が、物質的な豊かさや多様化した社会環境によって継承されにくくなっているように感じます。御詠歌を通して、様々なことを考えさせられます。時代には逆らうことはできません。けれども、それに気づいた誰かが守り伝えて行かなくてはなりません。一つ一つのことを大切に伝えていきたいと感じます。御詠歌にご興味のある方は、お気軽にご相談ください。今後とも、東円寺の更なる発展のために精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。